

奈良公園を「文化」の面から深く知る

「奈良公園の案内書 極」

(きわみ)



寺院、奈良時代からの歴史を色濃く残し、鹿が自由に歩き回る風景で国内有数の観光地でもある奈良公園。今年3月に、スポットを紹介する観光ガイドではなく、それらの時代的背景・文化的側面にぐっと迫り、紹介する本が発売された。17のテーマをそれぞれの専門家が執筆した本格的な内容だ。

「奈良公園の案内書 極」は2024年3月に刊行された、公園について17の切り口で紹介していく本。奈良県文化振興課が制作に携わった。この本を担当した文化振興課の服部さんに話を伺った。

「今までにこういった本はなかったと思いますが、なぜ制作することになったのでしょうか？」

服部 奈良公園という場所を「文化」の切り口で紹介した本があれば、より奈良公園の魅力が伝わると思っただけです。何年に造られ、どんな大きさでというデータ的な説明ではなく、造られた当時の権力者が誰で何が起きていたのかという時代的背景や、それが造られたこととどういった影響があったのかといったことを紹介するものを作るべきとの意見もあり、そういった側面から紹介したいと制作したのがこの本です。執筆者は多岐にわたります。当初は無料配布の冊子での上がりました。当初は無料配布の冊子での公開を中心に考えていましたが、ポリュームもありますし、全国の方に手に取って読んでいただくには書籍化して販売するのが一番有効だということになり、1年をかけて書籍用に手直しして、本という形になりました。

「テーマが17ありますが、これらのテーマ、執筆者はどういった観点で決められたのですか？」

服部 まずは文化振興課で、奈良公園を紹介するのに文化的な紹介に欠かせない要素をプレスト方式で洗い出してリスト化して、それを基に監修の千田稔先生に相談しました。先生に追加のアドバイスをいただいていた最終テーマを決め、テーマから執筆者を探しました。それぞれ、本にして面白く書いていただけたらという方で、かつ、その道のプロの方、読みやすさと内容の濃さの絶妙なバランスを取ってもらえるような方にご依頼させていただきました。

「奈良時代から近代までの歴史が網羅されていて、順番的にも読みやすいです。」

服部 実際に来て目視できるとか、楽しんでもらえるものを目指して制作したのですが、各執筆者の方が、そのあたりの意図を理解いただけて書いてくださり、すごくありがたかったです。これまでとは違う視点ですが、通して読むと全体が繋がっている。意図せずに少しずつ、全部の原稿が繋がっている感じになりました。それぞれの要素が絡み合っていて、結果として奈良公園の文化的な繋がりが、

1冊の中に盛り込まれたような形になりました。

「本文以外にそれぞれのテーマの小ネタや、食べ物や落語の舞台、行事などの紹介もあって、充実していますね。」

服部 小ネタは千田稔先生と一緒に制作した制作会社から提案をいただきました。より読みやすく、楽しんで読んでもらえますね。

「読者の方に、どんなふうに活用してもらいたいのですか？」

服部 教科書や専門書のような堅苦しい本ではなく、ガイドブックとして親しんでいただけるものを制作しました。これを持って読みながら歩いていただいてもいいし、事前に読んでおいて、訪れてから「そういうことだったんだ」と確認してもいい。テーマごとに分かれているので、自分が好きな部分、訪れて新たに興味をもった部分など、部分的に読むことができます。地形、歴史、自然、どの方面から読んでも面白い本になりました。この本を読んで、何度も奈良公園に来て楽しんでもらえたらと思います。



奈良公園のシンボル、鹿。もちろんテーマの一つ。神鹿として保護されてきた歴史や、鹿が存在することによる「文化」についても詳しく書かれている。



猿沢池も奈良公園の中の素晴らしい景観のひとつ。



県庁屋上から東大寺や若草山などの風景。県庁の建物自体も近代建築として紹介されている。

本書の内容

- 1 平城京(馬場 基=奈良文化財研究所)
- 2 東大寺(森本 公稔=東大寺)
- 3 正倉院(中村 力也=宮内庁正倉院事務所)
- 4 興福寺(辻 明俊=興福寺)
- 5 春日大社(松村 和歌子=春日大社)
- 6 奈良公園のシカ(東城 義則=立命館大学)
- 7 奈良国立博物館(翁 みほり=奈良国立博物館)
- 8 奈良公園周辺の地形(高田 将志=奈良女子大学)
- 9 奈良公園の景観(井原 縁=奈良県立大学)
- 10 奈良公園の植生と植物(松井 淳=奈良教育大学)
- 11 奈良公園の説話(齊藤 純=天理大学)
- 12 奈良公園ゆかりの歌(井上 さやか=奈良県立万葉文化館)
- 13 奈良公園と近代文学(光石 亜由美=奈良大学)
- 14 近世~明治の奈良(大宮 守友=氷室神社文化興隆財団)
- 15 奈良公園の近現代建築(増井 正哉=奈良女子大学・京都大学)
- 16 元興寺とならまち(服部 光真=元興寺文化財研究所)
- 17 奈良公園周辺の伝統工芸(西川 雅子=奈良市観光協会)

奈良公園の案内書 ~極(きわみ)~

監修：千田稔 編：奈良県
発行：株式会社角川アスキー総合研究所
発売：株式会社 KADOKAWA
発売日：2024年3月8日
定価：1,500円+税
判型：B5判 ページ数：176ページ

公式サイト：<https://www.kadokawa.co.jp/product/322311000588/> 全国の書店・ネット書店で発売中

まほろば健康パーク
スイムピア奈良・ファミリープール



本格的な競泳用コースや、健康増進用プールなど、様々なプールがある。水泳教室も子ども向け、大人向け、親子向けなどを開催。フィットネススタジオも併設されており、その日の体調や希望する負荷などに合わせた運動ができる。パーク内には大型複合遊具やイベントステージを備えた「子ども広場」や「ファミリー鉄道」(週末のみ運行)などもあり、親子で楽しめる公園機能も充実している。

DATA

- 大和郡山市宮堂町 310
- 月～土 9:00～22:00
日・祝 9:00～21:00
- 休 第2・第4火曜日、年末年始、メンテナンス休館(9/24～30)
- 0743-57-2782



2024年もファミリープールがオープン!

まほろば健康パーク「ファミリープール」

パーク内では、屋外レジャープールエリア「ファミリープール」がこの夏もオープン!大型の流水スライダーや、アトラクション風のパケツプール、幼児用プールなど、幅広い年代で楽しめるプールが盛りだくさんです。エリア内には売店もあります。

営業期間:7月13日(土)～8月31日(土)
営業時間:9:00～16:30(※閉門17:00)
利用料金:大人(中学生以上)860円、小人(4歳以上)420円
※3歳以下は無料です。
※小学校3年生以下は18歳以上の保護者の同伴が必要です。
※土・日・お盆は駐車場が大変込み合います。公共交通機関をご利用ください。

県立万葉文化館



五〜八世紀にかけて詠まれたとされる約四千五百首余を収めた日本最古の歌集『万葉集』を中心とした古代文化について楽しみながら学べる総合文化拠点。劇場形式で歌人や歌が詠まれた時代背景を紹介する「万葉劇場」や、等身大の人形やタッチパネル、イラストなどで説明する「一般展示室」は無料で利用できる(※展覧会は有料)。「万葉集」に関する学習ができる万葉図書情報室もあり、様々な角度から『万葉集』を知ることができる。

DATA

- 高市郡明日香村飛鳥10
- 10:00～17:30(※入館は17:00まで)
- 休 月曜日(※祝日の場合は翌平日休)、年末年始、展示替日
- 0744-54-1850



EVENT

巨大めいろに挑戦!

段ボールでできた巨大めいろが登場!コースは「かんたん」「ふつう」「むずかしい」の3種類。めいろの中にあるキーワードをあつめよう!参加者にはグッズをプレゼント!

日時:7月26日(金)～8月2日(金)10:30～12:00、13:30～15:00(※7月29日(月)は休館日) 参加手続:随時受付 参加料金:無料

万葉クイズ～万葉の世界で遊ぼう!～

館内をぐるっと回って「万葉クイズ」に挑戦!参加者にはグッズをプレゼント!

日時:8月24日(土)・25日(日)10:30～12:00、13:30～15:00
参加手続:随時受付 参加料金:無料

夏めく～ときめく夏ハーブ

ハーピスト川島憂子さんのコンサート。

日時:8月4日(日)14:00～15:00
曲目:「少年時代」「炭治郎の歌(鬼滅の刃より)」「ひこうき雲」ほか♪
定員:先着150名(予定) ※定員を超えた場合はご入場いただけません。
参加手続:不要 参加料金:無料

七夕かざり

館内入り口に大きな笹が登場します。短冊にお願い事を書いて笹に飾りましょう!

日時:8月1日(木)～8月10日(土)(※8月5日(月)は休館日)
参加手続:不要 参加料金:無料

展覧会

館蔵品展「万葉恋ものがたり」

『万葉集』には、お互いを想う歌や、恋い焦がれる苦しみ、嫉妬する気持ちが込められた歌など、男女の恋歌を主とする「相聞」に分類される歌が多く収められています。こうした恋の歌をモチーフにした「万葉日本画」から、万葉の人々が織りなす恋模様を垣間見てみましょう。

日程:7月20日(土)～9月16日(月・祝)



高橋天山<<山のしづく>>

関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

日時:7月21日(日)14:00～、7月24日(水)15:40頃～、8月28日(水)15:40頃～(※各回とも30分程度)
参加手続:申込不要・要観覧券

県営施設

夏の展示・夏のイベント

この夏、県営の9施設では、大人から子どもまで楽しめる多彩なイベントが盛りだくさん。家族みんなと一緒に楽しめる展示やワークショップも。夏休みの思い出作りにぴったりのイベント情報をチェック!

県立美術館



DATA

- 奈良市登大路町10-6
- 9:00～17:00(※入館は16:30まで)
- 休 月曜日(※祝日の場合は翌平日休)、年末年始、展示替期間中
- 0742-23-3968



1973年3月の開館以来、富本憲吉氏の近代陶芸作品など、奈良にゆかりの深い作家の作品などを収集し、所蔵品は約4,600点に上る。収集した作品の展覧会とともに、毎年テーマを設け、企画展・特別展を随時開催。館蔵品を中心に展示する企画展は、毎週土曜日には小・中・高校に相当する学校の児童・生徒であれば県内外を問わず無料で観覧できるため、美術館デビューを検討したい。

EVENT

講演会「江戸モード史を語る!唯一無二の奈良県美きものコレクション」

日時:7月21日(日)14:00～15:30
講師:小山弓弦氏(東京国立博物館 調査研究課長)
募集人員:60名
参加手続:当日先着順(※13:00から整理券配布)

美術講座「館所蔵の帷子を模造する一制作を通して見えたこと」

日時:8月11日(日・祝)14:00～15:30
講師:飯島礼子氏(同館指導学芸員)、ゲスト:北本益弘氏((有)北本染芸)
募集人員:60名
参加手続:当日先着順

担当学芸員によるギャラリートーク

日時:8月3日(土)、8月24日(土)14:00～(約1時間)

※いずれのイベントも参加には当日の観覧券が必要です。

展覧会

特別陳列

「日本の伝統文化を知る 江戸時代のきもの」

日本の民族衣装として着用されている「きもの」について、江戸時代の女性のきものを中心に展示し、その変遷を振り返ります。当時の技術と意匠によって生み出された豊かな服飾文化をお楽しみください。

日程:7月13日(土)～8月25日(日)
休館日:月曜日、7月16日(火)、8月13日(火)
※7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館
入館料:一般600円、大学・高校生400円、小・中学生200円
※20名以上は団体料金あり。その他、各種割引・無料対象あり。

柿博物館



奈良の柿は全国第2位の生産額を誇る。五條市の果樹・葉草研究センターには「柿博物館」が併設されている。三角形のアルミパネル236枚で造られた柿の形の館内では、柿の歴史、栽培方法、品種、加工例など、奈良の柿について無料で学ぶことができる。9月下旬～12月初旬ごろに訪れると、同センターで栽培した約200品種の柿が館内に並ぶ。

DATA

- 五條市西吉野町湯塩1345
- 9:00～16:30
- 休 月曜日(※祝日の場合は翌平日休)、年末年始
- 0747-24-0061



イベント

柿博物館開館30周年記念イベント

午前中はハウス柿の収穫を、午後からは3つの方法(アルコール、炭酸ガス、樹上脱渋)で刀根早生の渋抜き体験をしていただけます。夏休みの自由研究にも最適ですので、ぜひ親子でご参加ください。

日時:8月25日(日)9:30～16:00
募集人員:10組限定(1組2名まで) ※要事前申込
※9月1日(日)に脱渋した柿を取りに来ていただける方に限ります。
参加料金:1組500円(果実代)

馬見丘陵公園

丘陵に造られた自然豊かな馬見丘陵公園では、自然により親しみを持ってもらえるよう、季節の花に合わせたイベント、花・緑・自然に関する講習会が開催される。8月、9月には、次の講習会の開催を予定している。



イメージ

DATA

- 北葛城郡河合町佐味田 2202
- 24時間(ただし駐車場は開場時間あり)
- なし(公園館は月曜日休館)
- 0745-56-3851



EVENT

押し花体験

日時：8月3日(土) 13:30～15:30
 講師：室谷知子さん(室谷園芸研究所)
 参加手続：要申込(申込期間：6/21～7/19)
 募集人員：20名
 材料費：2,500円

草木染め入門

日時：9月7日(土) 13:30～15:30
 講師：水谷道子さん(森林インストラクター)
 参加手続：要申込(申込期間：7/26～8/23)
 募集人員：20名
 材料費：1,000円

小学生自然体験教室

日時：8月24日(土) 9:30～12:30
 講師：西原克弥さん(森林インストラクター 奈良県森林環境教育指導者)
 参加手続：要申込(申込期間：7/12～8/9)
 募集人員：20名
 材料費：200円

庭木の基礎知識教室

日時：9月21日(土) 13:30～15:30
 講師：和口美明さん(樹木医)
 参加手続：要申込(申込期間：8/9～9/6)
 募集人員：20名
 材料費：無料



DATA

- 奈良市大安寺西1丁目 1000
- 9:00～20:00
- 月曜日(※祝日の場合は翌平日休)、毎月末日(土、日、月曜に当たるときは、その前の平日)、年末年始
- 0742-34-2111



展示

世界のブックデザイン 2022-23

ドイツ・ライプツィヒブックフェアで発表された「世界で最も美しい本 2023 コンクール」の受賞図書と共に、日本の「第56回造本装幀コンクール」をはじめ、ドイツ、オランダ、スイス、カナダ、中国、韓国で開催された各国コンクール受賞図書約150点を展示します。

日程：6月1日(土)～7月30日(火)
 休館日：毎週月曜日、6月28日(金)、7月16日(火)
 (※7月15日(月・祝)は開館)
 入館料：無料

県立図書情報館

展示

えいだけ 永田家文書とその世界展

同館が所蔵する永田家文書などを利用した研究書『近代吉野林業と地域社会：廣瀬屋永田家の事業展開』が、日本経済評論社より刊行されました。展示では、研究書に引用された永田家文書の原本を公開いたします。また、編著者の中西聡先生による講演会を開催いたします。

日程：8月31日(土)～10月30日(水)
 休館日：毎週月曜日、9月17日(火)、9月24日(火)、9月27日(金)、10月15日(火)(※9月16日(月・祝)、9月23日(月・祝)、10月14日(月・祝)は開館)

関連イベント 永田家文書とその世界展：関連講演会

日時：9月21日(土) 14:00～16:00
 講師：中西聡氏(慶応義塾大学経済学部教授)
 定員：80名
 申込み方法：同館ホームページの申込みフォーム、FAX、来館申込み
 参加費：無料

うだ・アニマルパーク

イベント

ほんのりあんどん

園内を約4,000個の灯りで彩る「ほんのりあんどん」を開催します。当イベントでは、宇陀市内の小学校・幼稚園・保育園等の子どもたち約1,300人が絵を描いたあんどんや、動物をかたどった光の動物園などが登場します。また、イベント開催中は「うだ・アニマルパーク&宇陀松山会館スタンプラリー！」と称したプレゼント企画も実施します。

日程：8月30日(金)・31日(土) 18:00～21:00



DATA

- 宇陀市大宇陀小附75-1
- 9:00～17:00
- 月曜日(※祝日の場合は翌平日休)、年末年始
- 0745-87-2520



なら歴史芸術文化村

展覧会

令和6年度平常展 「文化財修理の現場から」

日々、修復工房を案内する見学ツアーを行っている学芸員ならではの視点から、各分野の修理工程を解説するとともに、普段は語られる機会が少ない、文化財の修理に携わる人々の思いを紹介します。

日程：7月13日(土)～9月16日(月・祝)
 時間：9:00～17:00(入室は16:30まで)
 参加料金：無料

※ギャラリートーク等の関連イベントも開催。詳細は決まり次第ホームページ等でお知らせします。



DATA

- 天理市杣之内町437-3
- 9:00～17:00(※レストランと貸館は9:00～20:00、にぎわい市場と文化村工芸館は9:00～18:00、情報発信棟トイレと授乳室は24時間利用可能)
- 月曜日(※祝日の場合は翌平日休。ショップ・レストランは月曜日も営業)、年末年始
- 0743-86-4420



EVENT

なら歴史芸術文化村「夏の大感謝祭 2024」

三輪素麺の試食販売会、オードブル人気3商品割引、鉄道模型運転会、天理市「Photo Contest てんり」受賞作品展など、ご家族で楽しめる大感謝祭です！

日程：8月10日(土)～8月18日(日)
 詳細：https://nara-bunkamura.com/archives/1898

- 涼を感じる「三輪素麺試食販売会」(数量限定)
 日程：8月10日(土)～8月14日(水) 11:00頃～各日なくなり次第終了
- ヤマトを駆け巡った車両たちを鉄道模型で再現！「鉄道模型運転会」
 日程：8月12日(月・振休) 10:00～17:00
 姉妹イベント：「大和鉄道まつり2024」 https://yamato-train-fes.net/
- お子さまに大人気「スーパーボールすくい」
 日程：フェア期間中毎日 9:30～17:00
 参加条件：交流にぎわい横シート2,000円ごとに1回参加できます

イベント

そざいきち「ぎゅっとする にゅっとでる」

0～6歳の未就学児を対象に、素材との出会い、あそびを楽しみます。「ぎゅっ」と力を加えると形が変わる。たくさん試して好きな「ぎゅっ」と「にゅっ」を探してみよう。

日程：5月1日(水)～7月28日(日) 水曜日・日曜日の週2回開催
 時間：水曜日 13:30～14:20、日曜日 10:30～11:20、13:30～14:20
 募集人数：各回先着5名
 参加手続：チケット制(※当日9:00よりチケット配布)
 参加料金：無料

※チケットはお一人様2枚まで。それ以上ご希望の方はもう一度お並びください。
 ※「そざいきち」は大変ご好評をいただいております。特に日曜日はチケットが早めになくなる可能性があります。

なら歴史芸術文化村「健康づくりイベント・健康料理教室」(2024年度・第2回)

健康づくりイベントとして、白馬のポニー・てんてんの触れ合いや、脚力年齢・血管年齢・推定野菜摂取量の測定などご体験いただけます。健康料理教室も同時開催。食生活の改善にも取り組んでいただけます。

日程：9月27日(金) 詳細：https://nara-bunkamura.com/archives/1788

- 健康づくりイベント(10:00～12:00)
 募集人数：100名程度
 参加手続：先着順(※当日9:45より「整理券」配布)
 参加料金：無料
- 健康料理教室「かんたんおいしいヘルシー食」(11:30～14:00)
 募集人数：24名(小学生以上)
 参加手続：上記ホームページのリンク先からメール、または電話で受付
 電話：0743-86-4420(10:00～17:00 なら歴史芸術文化村 管理事務所)
 参加料金：800円

檀原考古学研究所附属博物館

展覧会

展覧会「令和6年度重要文化財指定記念 特別陳列 ホケノ山古墳—ヤマト王権の成立へ—」

2024年、ホケノ山古墳(桜井市)出土品が国の重要文化財に指定されました。今回の特別陳列では、普段は展示されていない出土品も含め、出土遺物を一挙に公開します。

日程：6月29日(土)～7月15日(月・祝)
 休館日：月曜日(※7月15日(月・祝)は開館)
 入館料：大人400円、大学・高校生300円、小・中学生200円
 (※20名以上は団体料金あり。その他、各種割引・無料対象あり。)

関連イベント 【講演会】重要文化財「ホケノ山古墳出土品」を考える

日時：7月7日(日) 13:00～16:15 募集人員：定員250名
 参加手続：申込不要 参加費：無料

EVENT

令和6年度子ども考古学講座「今日から君も学芸員！博物館で展示のお仕事体験」

歴史や文化財に興味を持ち始める小学校4～6年生を対象に、体験型の学習講座を開催。今年はグループワークとして、考古資料の展示を体験していただきます。

日程：8月24日(土)・25日(日)
 募集人員：各日とも15名
 参加手続：抽選 ※ハガキまたはインターネットからの応募を予定
 参加費：無料

展覧会

展覧会「2023年度発掘調査速報展 大和を掘る39」

毎年恒例の発掘調査速報展です。2023年度に県内の発掘調査で出土した遺物や調査時の写真パネルなどを中心に、最新の調査成果を展示します。

日程：7月27日(土)～9月16日(月・祝)
 休館日：月曜日、8月13日(火)(※8月12日(月・祝)は開館)
 入館料：大人400円、大学・高校生300円、小・中学生200円
 (※20名以上は団体料金あり。その他、各種割引・無料対象あり。)

関連イベント 【講演会】遺跡発掘調査報告会 土曜講座

日程：7月27日、8月10日、8月31日、9月14日(各土曜日)
 時間：13:00～16:15
 募集人員：各日とも定員250名
 参加手続：申込不要 参加費：無料



DATA

- 檀原市畝傍町50-2
- 9:00～17:00
- 月曜日(※祝日の場合は翌平日休)、博物館指定の臨時休館日、年末年始
- 0744-24-1185

